

福生時間を大切にしたい

福生ライフ Vol.1 2014年11月

福生ライフ



特集

歩いて暮らせるまち

数字で見る福生の魅力

撮影場所：多摩川中央公園

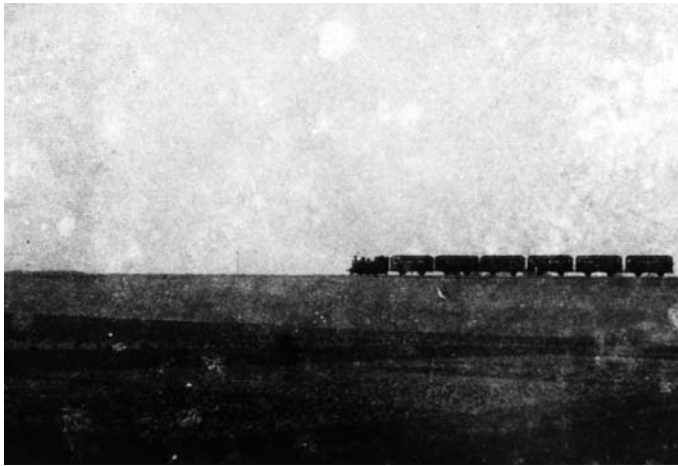
福生市の

移り変わり

皆さんが暮らしている福生市というまちの成り立ちから今日に至る歴史について、その基盤となった産業と鉄道の発展に焦点を当ててご紹介します。あらためて自分たちのまちの歴史にふれてみてください。



森田製糸所全景（大正期）



五日市鉄道開通当日（大正14年）



福生駅前中央通り（昭和36年ごろ）

文／青海伸一（福生市郷土資料室）
写真提供／福生市郷土資料室

◆福生市の変遷

江戸時代には、現在の福生市域は福生村と熊川村に分かれていました。多摩川に近い崖線の上に集落が展開し、村境はほぼ現在の五日市街道です。

明治時代には、現在の羽村市域との合併分離を経て、明治22年（1889年）に、現在の福生市の形となる「福生村熊川村組合」が発足します。その後、昭和15年（1940年）に合併して「福生町」に、昭和45年（1970年）には3万人市制第1号として「福生市」が誕生しました。

◆東京府初の大規模製糸工場

明治・大正期の福生市域では養蚕業が盛んでした。明治6年（1873年）には、東京で最初の大規模な製糸工場となる森田製糸所が熊川村に創業しました。最盛期には従業員も400人となり、多摩地区屈指の大工場になります。

後に、富岡製糸場の経営も行った日本最大の製糸会社である片倉製糸が森田製糸所の事業を引き継ぎましたが、第二次世界大戦中には製糸業の衰退と軍需に伴い他業種に転換し、福生の製糸業は終焉を迎えました。戦後は片倉自転車として、東京オリンピックにも出場した片倉シルク号の生産を行っていました。

◆鉄道の敷設と街の変遷

今から120年前の明治27年（1894年）11月に、現在の青梅線の前身である青梅鉄道が開通しました。開通と同時に福生駅や拝島駅が開設されると、次第に駅に向かう人の動きが出てくるようになりました。福生村では集落から駅へと続く宿橋通りに、旧福生郵便局や農協をはじめとする多くの店舗が軒を連ねる商店街が形成されました。やがて鉄道が生活の中心となってくると、駅の周辺に商店などが移っていきました。

終戦時でも青梅線から東側には人家は少なく、畑などが広がっていました。しかし、都市基盤整備が進むにつれ、青梅線から東側へも街が広がっていき、ベッドタウンとして発展し今日に至っています。

福生市郷土資料室では、青梅鉄道開通120周年を記念し、青梅鉄道や青梅線に関する資料をはじめ、鉄道に関する関連資料や関連写真を紹介する、「収蔵鉄道資料展」を11月24日（月）まで開催しています。詳細は福生市郷土資料室ホームページ。 <http://www.museum.fussa.tokyo.jp/>



歩いて暮らせるまち

数字で見る福生の魅力

自宅から歩いてでも行ける距離に、学校や病院、公共施設などがあるコンパクトさが福生の魅力です。そんな福生の魅力を数字で表しました。



- 1 福生駅～福生市役所 徒歩約 11分
- 2 福生市役所～熊川駅 徒歩約 26分
- 3 福生駅～東福生駅 徒歩約 14分
- 4 牛浜駅～国道16号線沿い商店街 徒歩約 11分
- 5 拝島駅～睦橋 徒歩約 21分

※歩行速度3.2km/hで計算しており、あくまでも概算です。標準的には4km/hとされています。当マップでは、子ども(3.6km/h)よりも少し遅い3.2km/h(1分間に約50m)で計算しています。

データ

福生市は東西約3.6km、南北約4.5kmに広がり、面積は約10.24km²。東京ドームの219個分です。

住みやすいまち「福生」

福生市には、JR青梅線など3路線が市内に走っていて、福生駅・拝島駅周辺に商業などの諸機能が集積し、その周辺に住宅地が形成されています。市街地の大半は福生駅・牛浜駅・拝島駅を中心としたおおむね半径1kmの中にあるコンパクトな都市構造です。

平成20年度住宅・土地統計調査では、公民館・集会所との距離が500m未満の住宅が95%であり、東京都の26市の中でも、極めて良好なまちであるといえます。平成25年度の市民意識調査でも、市の公共施設はおおむね充足しているとの意見がほぼ9割となっています。

歩いて行ける範囲の中に公共施設や店舗、学校などがあり、生活がしやすく、日常生活の大半が歩く範囲の中で済ませることができるまち、JRの5駅を商業・業務・文化・交流機能などの中心拠点や地域の中心的役割を担う生活拠点にして、地球環境や人にやさしいまちを目指す福生市は、多摩川や緑地などの豊かな自然も備え、「洋」と「和」の両面の文化が隣り合う魅力あるまちです。

皆さんも福生の良さを再発見してみませんか。



4

パパが毎年楽しみにしている「ラン&ウォーク in 福生」は4時間マラソン。公園内コース(1,487m)を4時間で何周できるかを競う4時間ランと4時間リレー、親子ペアレースがあります。



パパが
うれしい数字

通勤は便利だし
休日も楽しみが
いっぱい



76.1

駅まで1km未満の住宅は76.1%。1kmは徒歩にして約13分(80m/分)。(平成20年度住宅土地統計調査より)

5

コンパクトなのに市内に5つも駅があり、鉄道利用の便が良い。自動車に依存し過ぎることなく、徒歩や自転車で日常生活をおくることができます。



15

市内には野球、サッカー、テニス、水泳などが楽しめるさまざまなスポーツ施設が15施設あり、市民の健康増進につながっています。

45

福生から新宿まで電車で約45分で行けます。(JR青梅線~中央線で青梅線特別快速を利用した場合)。通勤や買い物にとっても便利。



数字で見る福生の魅力 元気にのびのび暮らせるまち



7

市内全小学校の7校で学年の異なる子どもが工作や英語、軽スポーツを楽しむなど、さまざまな体験ができる「ふっさっ子の広場」。地域の人たちの協力で楽しく運営しています。



1

平成25年4月1日現在、市民一人当たり図書館蔵書数は7.44冊で、多摩地域26市中1位。26市平均は4.86冊です。

わたしが
ぼくが
うれしい数字

遊びも勉強も
のびのびできるよ



75

平成26年4月1日現在、福生には公園・児童遊園が75か所もあり、地域の憩いの場として利用されています。

100

市内の全小・中学校の校舎及び体育館は100%耐震補強工事を完了しています。





176

平成26年10月1日現在、ふっさ子育てまるとくカード協賛店は176店。中学生以下の子どもがいる世帯と妊婦のいる世帯に対し発行されるカードで、協賛店が提供する割引など特典が受けられます。



ママが うれしい数字

子育てがしやすく
助かります



16

市内に保育所は16か所あり、平成25年度の待機児童数は0人でした。26年4月は数名の待機児童がみられますが、来年度は再び0人になることを目指しています。



4

市内には幼稚園が4か所あり、各園の教育方針に基づいた幼児教育を行っています。

39

福生市が取り組んでいる撮影支援事業「福生ロケーションサービス」。平成25年度は映画「舞妓はレディ」、テレビドラマ「半沢直樹」・「相棒」など市内で39件の撮影支援を行いました。



35

国道16号線沿い（ベースサイドストリート）のワシントンヤシの数は35本。このエリアでは福生の「洋」の魅力を感じることができます。



数字で見る福生の魅力 子どもやお年寄りにやさしいまち



43

病院数・一般診療所数を合わせて43施設、人口10万人当たりの病院数は6.73。これは多摩地域26市で6番目に多い数字。

おじいちゃん おばあちゃんが うれしい数字

老後も安心して
暮らせます



5

健康づくり推進員は歩いて楽しい散歩5コースをマップにし、地図を片手に元気になる「健康ウォーキング」を実施しています。



0

高齢者や障害者等の方たちが利用する「福祉バス」は、無料（0円）。市内福祉施設等へ送迎します。（月～土曜日運行）。



平成25年4月1日現在、福生市の道路舗装率は97.1%（東京都26市平均88.0%）で、どこでも歩きやすいのが福生市。

97.1



福生今昔

◎宿橋通り

福生の今と昔を見比べれば、まちに興味がわいてきます。さまざまな時代を経て今があることを、改めて考えてみましょう。今回紹介するのは宿橋近くの街並みです。



①/昭和50年に撮影された宿橋通り沿いの民家。萱葺き屋根の張替えをする様子が当時の郷愁を誘う。写真提供：福生市郷土資料室



②/現在の宿橋通り



③/福生市在住の窪田成司さんが、自ら描いた「福生永田絵図」の中の、「宿橋東側の家並み」絵図。解説には「人が通る堀端の十字路近くには旅館、八百屋、ミシン屋、理髪店、消防組火の見やぐらがたち、搗屋(※)、小物店、一ぱい呑屋、福生郵便局などが連ねて」とある。※搗屋：つきや/精米所 絵図：窪田成司さん

宿橋通りの今昔

現在の永田橋のあたりには、江戸時代以来多摩川の渡し場が存在しました。渡しは、大雨の時などには運行することができないため、渡し場の近くには宿泊施設などができたことから、この地域は宿と呼ばれていました。後に福生駅が開設されると、集落や渡し場から駅へ向かう人の流れが生まれ、玉川上水に架かる宿橋を通る現在の宿橋通りには多くの商店が軒を連ね、明治期から戦後にかけて福生村の中心地として栄えていました。

絵図は昭和11〜20年の風景を描いたもので、活気ある街並みが伺えます。モノクロ写真は昭和50年に撮られたもので、人々が協力して一軒の茅葺き屋根の修復にあたっています。現代になってまちの中心は駅や市役所周辺へと移り変わり、宿橋周辺は静かな住宅地の様相を見せています。

最近、市の美しい景観づくりの一環としてさまざまな取り組みが行われており、宿橋通りは緑や水を感じられ、くつろぎが持てる「和」の魅力を伝える生活道路として生まれ変わってきています。

宿橋そのものは、昭和11年に木製から鉄筋コンクリート造りの橋として生まれ変わりました。いわゆる自動車社会の到来に向け、より強固な橋となったのです。そして、平成5年に玉川上水に架かる橋梁であることを考慮し、美観を尊重して修復されました。

旬の福生

訪ねてみたい旬のスポット

緑の大仏さんと金の
大仏さんが
おすすめのス
ポットを紹
介します。



緑の大仏さんと金の 大仏さん

1979年、福生市生まれ。2005年1月11日に開設された、人気ブログ「限りなくアメリカに近い福生」の管理人。TV東京「出沒!アド街ック天国」など数多くのマスコミで取り上げられ、福生のPRに貢献。

福生の旬と言えるかどうかわかりませんが、いつも思うのは、やはり福生は面白いまちという印象です。今は離れた場所です。今は、つれてもどこかで小さなイベントやパーティみたいなことをやっている印象です。ハウスなどでは人が集まって、庭でわいわいやっていたりするので、そこに勝手に参加させてもらったりして。気軽さというか、温かいんです、人が。

今年の夏、そのハウスの一つが土・日曜日に一般公開されることになりました。見たことはあっても実際に中に入ったことがない人が多いようです。ぜひ見学してもらいたいですね。外観はシンプルな平屋ですが、60年代風のポップなインテリアや雑貨が作り出す室内の雰囲気は、まさにアメリカンという感じがします。芝生の庭もあって、そこに友だちが集まりビール片手に音楽や車の話で盛り上がる。そんな暮らしが、福生っぽいと思います。

旬といえば、クリスマスのイルミネーションはアメリカンなまちらしいというか、けっこう楽しめます。国道16号線沿いの商店街



16号線沿い商店街のイルミネーション



東福生駅前のイルミネーション

もイルミネーションを飾り、また基地内のイルミネーションもフェンスごしに望めて、散歩してみるだけでも発見があります。そう

いう意味では、福生はこれからの時期、旬を迎えると言えるかもしれません。東福生駅や福生駅の駅前も工夫されたクリスマス演出をされていて、福生の夜はきれいでけっこう楽しめます。

アメリカンな「洋」とともに「和」の要素もあるのが福生です。二つある酒造会社の酒蔵のほか、蔵のある街並みは日本の凛とした佇まいを感じさせます。さらに、福生には多摩川と玉川上水があり、豊かな水と緑のまちでもあります。風景は国道16号線のアメリカンから、自然の景観へと一変し、気持ちを取りフレッシュすることができるんです。

旬というのは、どちらかというと今だけの流行という気がしますが、福生は同じ風景がいつまでも変わらないうちにあることで、安心感がある、落ち着けるんです。それでも、至るところに小さな変化はあると思いますので、いろいろ見て歩くだけでも発見があります。できれば一度、じっくり歩いてほしいですね。



上2点／公開されている福生アメリカンハウスは、コミュニティスペースとしても利用されている。開館日時：土・日・祝日 午前11時～午後5時（入場無料）。国道16号線そば。JR牛浜駅から徒歩10分。



武蔵野の面影を残す文化の森



秋の多摩川、春とは違った趣があります

福生市のお知らせ & 耳より情報



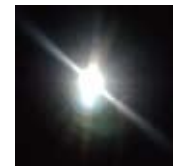
市道の道路照明灯がLED化！

平成25年度、平成26年度の2年間で市道の道路照明灯を、水銀灯からLED灯へ更新工事しています。これは近隣自治体に先駆けて行われた取り組みです。

工事は、平成26年9月末時点で約9割が終了し、今年度中には市道の道路照明灯すべてのLED化が完了する予定です。

LED化による最大の効果は電気代です。工事が始まる前の平成25年11月の電気代、月額415万円に対して平成26年9月は171万円となり月額244万円の削減となりました。年間にすると2,928万円もの削減です。また、水銀灯の寿命は、おおよそ3～4年ですが、今回設置したLEDの寿命は約20年と長く、補修などにかかる維持費も削減でき、消費電力の減による、環境への負荷軽減にもつながります。設置にあたっては、照明灯の設置基準を設けてバランス良く、市内を照らせるようにしています。

市民の皆さん、照明を見る機会は意外とないと思います。夜、歩くときに意識して見ていただけたら、明るさの違いを感じられると思います。



インフルエンザに気をつけて

毎年11月から3月頃は、インフルエンザの流行シーズンです。インフルエンザは高熱や関節の痛みなどを伴い、人によっては合併症を伴い重症化するおそれもあります。インフルエンザの感染を広げないために、一人ひとりの手洗いうがい、マスクの着用、バランスの良い食事、十分な休養をとることも、かからない、うつさないための心掛けとして大切です。

また、インフルエンザ予防の決め手は、流行シーズン前に予防ワクチンを接種することです。市では、65歳以上の高齢者の方へインフルエンザワクチン予防接種の定期接種を実施しています。詳しくは広報ふっさをご覧ください。

【お問合せ先】福生市保健センター ☎ 042-552-0061



新成人おめでとう！ 664名の福生市新成人が誕生。

平成27年の新成人を祝う「福生市成人式」が開催されます。新成人は664名（平成26年7月15日現在）。成人のつどいでは、新成人の有志で構成された成人式実行委員会で準備を進めています。

平成12年から16回目となる手作りの成人式。今年はどうなる企画が行われるのか、楽しみです。

期日：平成27年1月12日（祝） 場所：福生市民会館

時間：「成人式」午後1時 「成人のつどい」午後1時45分

主催：福生市・福生市教育委員会



福生ライフの発行にあたり

市民の皆さんに、福生の良さをもっと知ってもらい、福生を愛着ある故郷にしてもらうことを願い、知っているようで知らない福生の魅力を届けるため、福生ライフを発行しました。

企画・発行：福生市秘書広報課 〒197-8501 福生市本町5 ☎ 042-551-1511（市役所代表）

制作：(株)サンユー・コミュニケーションズ

